

母と子の命をまもるために

母子保健×国際協力

2014年度のJOCS海外保健医療勉強会は、国際協力の中でも「母子保健」に焦点を当てます。国際保健に興味を持ち始めたばかりの学生から、学びを深めたい方まで、多くの方にご参加いただけますよう、入門者向けとして誰にでもわかりやすい「基礎編」と「活動報告編」、すでに基礎知識がある方や経験者向けの「実践編」をご用意いたしました。皆さまのご参加をお待ちしています。



基礎編	'14 6/13 (金) 18:30~20:30	国際母子保健 「基礎編」 母子保健関連用語を理解し、なぜ母子保健なのか、その目的、展望、イパクトを考えます。さらにその指標、資料収集、分析、評価、フィードバックおよび保健医療倫理を学びます。 倉辻忠俊 (医師・JOCSタンザニア派遣 2011~2012)
活動報告編	'14 8/30 (土) 16:00~18:00	パキスタンでの医療活動を通して、異文化の中で学んだこと パキスタンの聖ラファエル病院は、主に妊産婦、新生児、貧しい人々のための病院として知られています。8年間、医師として聖ラファエル病院で働いた経験より、文化、宗教の違い、すなわち価値観の違いところに派遣され、働くことの自他への意味を考えます。 岡野真弓 (医師・マリアの宣教者フランシスコ修道会パキスタン派遣 1999~2008)
基礎編	'14 10/25* (土) 16:00~18:00	母子保健活動の実際 世界の母子保健における具体的な課題をとりあげ、その現状と国際的な取り組みについて学びます。また、カンボジアやタイでの母子保健研究からみえてきた現状についても取り上げます。 柳澤理子 (愛知県立大学看護学部教授・JOCSカンボジア派遣 1989~1995)
実践編	'15 3/6 (金) 18:30~20:30	国際母子保健「実践編」 母子保健関連データの読み方、データベース内での分析、他のデータベースとの間での分析、その結果の使い方、調査票の作り方と調査研究の個人情報保護、倫理について理解します。 倉辻忠俊 (医師・JOCSタンザニア派遣 2011~2012)

その他 2014年度特別企画

「JOCS ワーカー報告会」

'14 11/22 (土)* 16:00~18:00

パキスタンで、新生児と向き合った6年間

パキスタンの聖ラファエル病院での新生児医療の経験などを話します。茶話会形式で開催します。

青木盛 (医師・JOCSパキスタン派遣 2007~2014)

「キャリア開発編」

'15 1/30 (金)* 18:30~20:30

グローバル・ヘルス向上のために日本の看護・助産職ができること

グローバル社会での成熟社会の一員としての貢献活動の重要性が大きくなってきているなか、日本の看護職・助産職ができることに関して考えます。

田代順子 (聖路加看護大学看護学部教授)

※日程・会場変更の可能性があります。1か月前までに確定しJOCSホームページ等でお知らせします。

■会場 JOCS 東京事務局 新宿区馬場下町 1-1 早稲田 SIA ビル 4階 (東京メトロ東西線 徒歩2分)

■受講料 1000円 (JOCS会員は500円) ■定員 各回30人 (先着順)

■お申込方法 各回、JOCSホームページからお申込みを受け付けます。(締切は各回とも開催日の前々日まで)

お申込・お問い合わせ: 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)

TEL 03-3208-2416 FAX 03-3232-6922 info@jocs.or.jp